

2025 年 8 月 15 日

Honda の米国現地法人であるアメリカン・ホンダモーター（本社：カリフォルニア州トーランス 社長：滝沢 一浩）は、現地時間 2025 年 8 月 14 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

SUV タイプの新型 EV「Acura RSX Prototype」を世界初公開

Honda は、米国現地時間 8 月 14 日、Acura ブランドの SUV タイプの新型 EV「Acura RSX Prototype（アキュラ・アールエスエックス・プロトタイプ）」を世界初公開しました。

Acura RSX Prototype は、2024 年に米国カリフォルニア州で開催された Monterey Car Week（モンテレー・カー・ウィーク）で発表された、プレミアムパフォーマンスブランドである Acura ブランドの次世代 EV モデルの方向性を示すコンセプトモデル「Acura Performance EV Concept（アキュラ・パフォーマンス・イーブイ・コンセプト）」をベースに開発されました。

Acura RSX の量産モデルは、ハイブリッドを含む ICE（内燃機関）搭載車と EV の混流生産による柔軟な生産体制を持ち、米国における EV 生産のハブ拠点と位置付けているオハイオ州メアリズビル四輪車生産工場生産され、2026 年後半の発売を予定しています。



Acura RSX Prototype は、Honda が独自に開発した次世代 EV プラットフォームを採用する最初のモデルであるとともに、Honda 独自のビークル OS「ASIMO OS（アシモ オーエス）」を搭載し、ユーザー一人ひとりの好みや運転行動を学習して、“超・個人最適化”された移動体験を実現します。また、パワフルなデュアルモーターによる AWD（オールホイールドライビング）やスポーティーなセッティングを施したダブルウィッシュボーン式フロントサスペンション、Brembo 製ブレーキを標準装備し、低重心設計による没入感のある魅力的な走行体験を提供します。さらに、双方向充電機能を備えており、移動手段としての用途にとどまらず、移動に用いないときは蓄電池として家電製品への電力供給が可能であり、エネルギーの有効活用に貢献します。

Acura RSX Prototype は、米国カリフォルニア州で開催される、ビンテージカーからレースカーまでさまざまなクルマの集まる祭典、Monterey Car Week のイベント「The Quail（ザ・クエイル）」（現地時間 8 月 15 日）および「Pebble Beach Concours d'Elegance（ペブルビーチ・コンクール・デレガンス）」（現地時間 8 月 17 日）にて展示されます。

■「Acura RSX Prototype」のデザイン

ダイナミックなスタイリングは、「Acura Performance EV Concept」のデザインを継承しています。次世代 EV プラットフォームが可能にするデザインの自由度を最大限に生かし、クーペのようなシルエットに深く彫り込まれた形状のサイドパネルを備えた力強いプロポーションとしています。

張り出したホイールアーチと 21 インチの大径マルチスポークホイールが力強さを際立たせるとともに、ロングホイールベースによりタイヤが車体の四隅に配置され、前後オーバーハングが短くなることで、現代的で走りに特化したデザインを実現しています。

フロントフェイスは、Acura 独自のダイヤモンド・ペンタゴン・デザインを進化させ、シャープな形状のデイトタイムランニングライトと、低い位置に配置された LED ヘッドライトによって、上下分割型の印象的なヘッドライトデザインを採用しています。

■アメリカン・ホンダモーター Acura デザイン・エグゼクティブ 土田 康剛のコメント

「Acura RSX Prototype は、優れた空力性能がもたらすパフォーマンスを、スポーティーなクーペスタイルで表現しています。このモデルを皮切りに、パフォーマンス性や独自性を表現した普遍的な美しいデザインと先進技術を軸に Acura ブランドを再定義していきます」